

野宿私にもありうる — 19歳 西成でボランティア



1 貧困

「社会を見たいと思った」 若い世代の将来を考えてみ... 野宿者におにぎりなどを手渡す子ども夜回り隊のメンバー



野宿者におにぎりなどを手渡す子ども夜回り隊のメンバー 大阪府西成区、伊藤進之介撮影

夢は明るいでも現実には暗い

17歳 母と生活保護暮らし

夜回り隊には、自ら苦しい状況に置かれた子もいる。大阪府西成区に住む公立高校2年の女子生徒(17)は、精神疾患を抱える母親と生活保護を利用している。別の民間児童館「ひまわり」の活動に参加する。野宿者人たちの姿に「何かしんとい事情があったんだろ...」

各党の主な公約

- 【民主】大学の授業料減免。最低保障年金の創設
【自民】就学援助拡充。年金の受給要件緩和。生活保護の見直し
【未来】高校授業料の無償化堅持。最低保障年金の創設
【公明】大学、高校生に給付型奨学金。給付つき税額控除制度
【維新】税金は低所得者の負担軽減。最低生活保障目的に限定
【共産】年金を段階的に充実。生活保護の排除と切り捨てをやめる
【みんな】大学などの奨学金制度を拡充。給付つき税額控除の導入
【社民】数値目標を決めて貧困削減。税財源の基礎的暮らし年金
【大地】基礎年金の全額税負担。社会保障の充実
【国民新】奨学金制度の拡充。社会保障と税の改革で福祉国家実現
【新党日本】基本所得を保障するベーシック・インカムとベーシック・ワーク
【改革】在職老齢年金の見直し。安心と希望の社会保障

高齢者向け 手厚い対策

所得が少なく生活が苦しい人の割合を示す貧困率は、厚生労働省調査によると、16%（2009年時点）。経済協力開発機構（OECD）加盟30カ国に比べると、アメリカなどに次いで4番目に高い。対策は、まったなしだ。

リーマン・ショック後の前回衆院選は貧困問題が注目を集めたが、今回、前面に掲げて訴える政党は少ない。ただ、子ども施策では、授業料負担の軽減や、学用品などに充てる就学援助の拡充のように、貧困の連鎖を断ち切る対策が公約に見いだせる。社会保障全般に目を広げると、給付費は10年度に年間約100兆円に過去最高。働く支え手世代が減っていくため、給付を抑える動きもある。最後の安全網となる生活保護も例外でなく、一部の政党は給付水準の見直しや不正受給の防止を掲げる。主に高齢者の貧困対策になる年金には、低年金者への給付金支給や最低保障年金の創設など、手厚い公約が並ぶ。